

古文書を読む会学習記録

平成30年11月28日

開催日	平成30年11月22日	時間	10:00~12:00
場所	地区活動センターAB会議室	出席人数	15名
講師	真田 雅行	作成者	深澤 勝美
テーマ	第二学習 艱難実録(函館戦争)(中)⑮		
概要	<p>1 宮古沖に停泊中の官軍艦の中、最新鋭の甲鉄艦ストーンウォールを奪うため榎本艦は回天を中心に宮古湾内を廻り甲鉄艦に乗り付け乗り込んだが撃ち合いとなり犠牲がでたため一旦甲鉄艦から退却したが、ふたたび乗り付けることができず勝利無きと見え引き返したところ、五艦の官艦より発砲あり一発も当らなかつたが奪取に失敗。結局回天船将討死 他に二十三人討死した。</p> <p>1 官軍の攻勢により旧幕府軍の戦争勝利見込みが立たなくなったため 板倉勝清は一先ず横浜に引き返しそれより西洋に出る様に相談。 桑藩も同意するが好便船もなく当惑する。</p> <p>1 官軍青森の港に七、八艘集まる。4、5日のうちに当港に押し寄せるとの事に市内大騒ぎになり荷物など片付 異人館に居る異人は迎船にて当地を出立つする様に。しかし迎船も参らず船の都合もつかず 主従苦心する。</p> <p>1 榎本武揚参り三公に申し上げるに 近々官軍港に参る様子なること、箱館は危険なためモロランに行き長鯨丸に乗りアッケシに参るよにとの事。 明朝 出立無きとき 艦に間に合わない時は 相談したく桑公お出で下さる様伝える。</p> <p>1 翌日函館を出立 河汲で一泊する。自分は谷地頭を出立つに付一柳生馬御進退伺いに参るが迎船も参らず心配している様子。</p> <p>1 織衛 兵隊の者にお手当金支給したいが 乏しき金にて払えず 自分の時計を売り酒等ふるまう。他に三両渡す。</p> <p>1 河汲を出立、 海岸を通り沙原に滞留しばらく諸方の様子をうかがう。 桑公とは行き違いになり河汲、沙原にも居らず森村に止宿していた。 モロランに官軍廻る恐れがあるので 出立を見合わせ一旦函館に引き返す。</p> <p>1 モロランに帰船のため船を雇い風直り次第出帆する予定 二日三日待っても風止まず、陸廻りは里数も多く廻りかねるので今日二日風直るのを待つ。</p>		
次回	平成30年12月13日 於区民活動センターAB会議室 第一学習 野島浦 鈴木家文書⑫		